



三洋半導体
ニュース

No.1681

9034

STK3102IIA

厚膜混成集積回路

90~100W AF パワーアンプ用
2チャンネル電圧アンプ



- 特長
- ・AC アンプ回路構成のため 外付け中点調整回路が不要である。
 - ・外付け部品により 位相補正の自由度が大きくなっている。
 - ・カレントミラー回路の組み込みで 低ひずみ率(0.01%)が得られる。
 - ・消費電力を小さくすることにより 発熱をおさえている。
 - ・カスコードトランジスタのベースを定電圧化することにより 電源 オン時のポップ音を小さくしている。
 - ・2チャンネル 1パッケージ 2電源方式となっている。

最大定格/ $T_a=25^{\circ}\text{C}$

		unit
最大電源電圧	$V_{CC\text{ max}}$	± 75 V
動作時 IC 基板温度	T_c	115 $^{\circ}\text{C}$
保存周囲温度	T_{stg}	$-30 \sim +115$ $^{\circ}\text{C}$

動作特性/ $T_a=25^{\circ}\text{C}$, $R_L=33\text{k}\Omega$, $V_G=40\text{dB}(1)$, $V_G=26.5\text{dB}(2)$, 測定は指定回路において

			min	typ	max	unit
消費電流	I_{CC}	$V_{CC}=\pm 60\text{V}$, 測定回路(1)		26	40	mA
中点電圧	$V_N(1)$	$V_{CC}=\pm 60\text{V}$, 測定回路(1)	-50		+50	mV
	$V_N(2)$	$V_{CC}=\pm 60\text{V}$, 測定回路(2)	-70		+70	mV
出力雑音電圧	V_{No} ※	$V_{CC}=\pm 60\text{V}$, $R_g=0\Omega$, 測定回路(1)			1.0	mV
入力抵抗	r_i	$V_{CC}=\pm 60\text{V}$, $f=1\text{kHz}$, $V_o=2.83\text{V}$, 測定回路(1)	31	33		k Ω
全高調波ひずみ率	THD	$V_{CC}=\pm 50\text{V}$, $f=20\text{kHz}$, $V_o=28.3\text{V}$, 測定回路(1)		0.005	0.01	%

※: 測定用 VTVMの周波数特性は 5Hz~1MHzにて $\pm 3\text{dB}$ 以内とする。

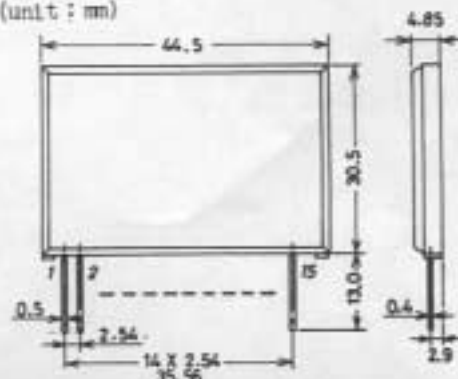
・: 測定時の電源は指定のないかぎり定電圧電源を使用する。

■特許の非保証について:

この資料は正確かつ信頼すべきものであると確信しております。ただしその使用にあたって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権の許諾を行なうものではありません。

Information furnished by SANYO is believed to be accurate and reliable. However, no responsibility is assumed by SANYO for its use; nor for any infringements of patents or other rights of third parties which may result from its use, and no license is granted by implication or otherwise under any patent or patent rights of SANYO.

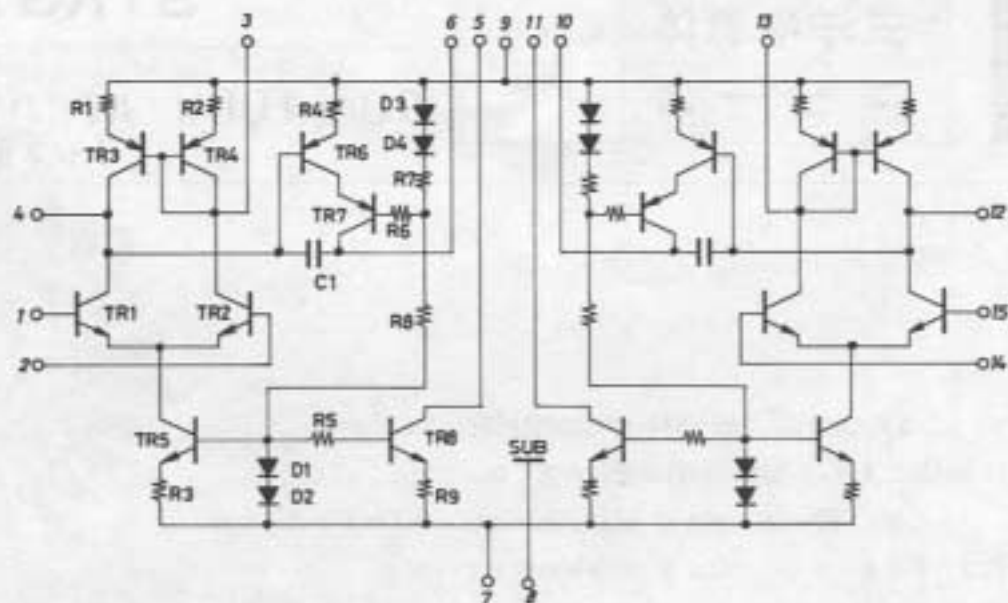
外形図 4073
(unit: mm)



*これらの仕様は、改良などのため変更することがあります。

STK3102IIA

等価回路



測定回路

